



# TSUNAGI

## つなぎ議会だより

# 5

MAY

つなぎ議会だより

2021.5

### 未来に向けて泳ぐ鯉のぼり

- 令和2年度3月補正予算の審議結果……………P 2～3
- 令和3年度当初予算の審議結果……………P 4～5
- 常任委員会予算審議の動き……………P 6～7
- 一般質問（7名）……………P 8～13
- 各特別委員会の動き……………P 14
- 議会のうごき 他……………P 15
- インタビュー夢つなぎ人……………P 16

発行：熊本県津奈木町議会  
編集：議会広報編集特別委員会

〒869-5692 熊本県葦北郡津奈木町小津奈木2123  
☎0966-785351

印刷：旭印刷株式会社

## インタビュー

# 夢つなぎ人



プロフィール  
堀田 将豊 (ほりた しょうほう)  
1981年8月18生まれ 39歳  
（有）ヤマシヨウ代表取締役  
・家族構成：妻・長女・次女  
・趣味：ゴルフ・野球  
・津奈木町商工会（青年部）

今回は倉谷地区の堀田さんに伺いました。

### 事業継続のために山林監理が責務！

#### 林業に携わるきっかけは

他の業種への就業予定はあったが、地元への愛着と両親の事業に対し、長男として手伝いながら、後継者への自覚がめざめ、引き継ぐ決心になりました。

#### 木材業界の状況は

弊社は林業・製材業を主とし、山林の売買・おが粉の製造販売（畜産敷料等）を行っています。

昨今の少子高齢化による人口減少に伴い住宅着工数は年々減少の一途で、それに比例し木材の国内使用量も減少傾向にある。しかしながら、スギ・ヒノキを主とした海外への輸出（中国・韓国・米国等）、バイオマス発電用の燃料使用等、用途の幅が広がりをみせ販売価格の安定化を図ることが出来ています。

#### 森林の将来は

ここ数年、地元の後継者が不在であったり、大規模自然災害を懸念し維持管理が困難との考えから、山林の売却・譲渡・交換等の相談を受けることが増えております。



弊社としても社有林の監理と並行し、そのような案件にも可能な限り対応しなければなりません。これを生業とするうえで弊社の責務だと考えております。

#### 今後の将来展望をお聞かせください

まずは、早く技術を向上させ、先輩方においつけるように頑張ります。また、自分の作ったものを、多くの人に喜んでもらえ、お客様と直接つながっていくるように、常にチャレンジし、モデルケースのひとつとして、確立していく事が目標です。

#### 町議会へひとこと

都会と比べ田舎だからこそその家の持ち方があるかと思えます。それに必要道路の整備等を引き続きお願いいたします。

#### 編集後記

新型コロナウイルス感染症と向き合うことになり、新しい生活様式での暮らしが始まって一年が過ぎました。収束の糸口が見つからない状況ですが、唯一期待されるワクチン接種が予定通りに進むことを願っています。

様々な閉塞感に包まれた日々において、町報4月号で子どもたちの卒園式・卒業式に触れることができ、幸せのお裾分けにニッコリでした。新学期が始まっている子どもたちの、健やかな成長を願っています。

これからも、町報紙としての議会だよりとして、それぞれの立場で切磋琢磨しながら、心待ちにしていただけ、読んでいただけたら嬉しいです。取り組んでいきたいと思

澤井 静代

#### 議会広報委員

委員長	本山 真吾
副委員長	宮嶋 弘行
委員	橋口知恵子
委員	澤井 静代
委員	上村 勝法

令和3年  
第1回  
定例会

可決!

# 補正予算 6億9,550万円減額

## 定例会の あらまし

令和3年第1回津奈木町議会定例会が、3月5日から19日までの15日間の会期日程で開催されました。本定例会では、令和3年度当初予算を主として、新型コロナウイルス対策や豪雨災害の復旧などに関する令和2年度補正予算、機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定など、19議案が提出され、全て原

案どおり可決されました。また、議会活動に関する報告や情報提供を行う議会広報を、これまで以上に活発にするため、議会広報編集特別委員会の設置が発議され、全会一致で決議しました。なお、議会傍聴は、一般16名(延べ)でした。

## 災害復旧関連予算は6月に

### 注目質疑

**問** 農業災害復旧費関連の予算は、総額3億円程度の減額となっているが、その理由は。

も限られている現状がある。そのため年度内に優先的に実施することが必要な箇所についてのみ今回予算を計上し、残りの箇所は次年度以降に実施する箇所分として減額している。

**答** まず緊急性が高い箇所を優先的に実施していくが、河川に近い農家は、河川を復旧しないと農地の復旧ができないので、稲作の準備を進めていく地権者に対しては、丁寧な説明をして対応していきたい。

い。危険箇所については、6月から7月にかけて梅雨期となるので、その時期前に巡回して確認を行い、施行予定以外の箇所が発見された場合は、単独予算でも河川予算を確保しているのに対応していきたい。

**答** 災害復旧予算は、当初査定申請見込みにより、年度内完成を目指し予算を組んでいたが、1月に査定が終了し事業が決定した。

**問** 次年度以降に実施する箇所は、河川等において特に大きな被害を受けた箇所が多い。今後、稲作等を行っている農家は田植えの準備を進めていくが、いつ工事を発注するかわからない。現在2次災害の危険箇所もあるが、発注が懸念される箇所は把握しているのか。

また、激甚災害に指定されたことで、3年程度の復旧工事期間の延長ができるようになり、大規模な災害であったため、箇所数も多く、一度に発注しても入札に応じることができる業者

は、平国小学校外部改修工事の今後の予定は。

### 主な質疑

**問** ICT情報機器等購入費の減額理由は。

**答** 今回のGIGAスクール構想に伴い、子どもたちに1人1台ずつ提供する事業として実施したこととして、ウィンドウズを当初計画していたが、グーグル社のクロームブックに機種変更を行った。変更に伴うソフトの見直し、入札結果により安価に購入できたことで減額になった。機種については3種類を学校の先生方に対し、使用してもらい意見を聞いたうえで、最終的にクロムブックに決定した。

**問** 平国小学校外部改修工事の今後の予定は。

**答** 平国小学校外部改修工事は2工区に分け施工した。令和2年7月豪雨災害前に発注した箇所は工事が完了したが、職員室や校長室があった箇所の工事は、法面崩壊等の影響を受け工事ができなくなったため、来年以降に延期することとなった。

時期については、災害復旧の進捗状況をみて計画していく。



令和2年7月豪雨による被災(旧平国小)

### 今回の主要な補正予算(一般会計)

事業名	補正額
旧平国小学校外部改修工事	▲26,169
津奈木工業団地内堆積瓦礫処分業務委託料	163,789
宅地内災害廃棄物撤去工事	▲15,000
合串・福浦漁港内堆積瓦礫処理工事	17,016
津奈木工業団地内堆積瓦礫処理工事	17,900
農業用施設等補助災害復旧工事	▲283,398
林道施設補助災害復旧工事	▲18,018
災害倒木処分業務委託料	▲15,000
道路橋りょう補助災害復旧工事	▲87,796
河川補助災害復旧工事	▲293,895
津奈木工業団地内堆積土砂処分工事	141,611
合串・福浦漁港内堆積土砂運搬工事	68,102



令和2年7月豪雨による被災(河川)

# 新型コロナ対策 商品券配布

令和3年度予算  
前年度比4%増

## 新型コロナワクチン予防接種開始

### 65歳以上の高齢者を先行

#### 議会の注目点

令和3年度は、新型コロナウィルス対策に加え、7月災害復旧関連をどのよう  
に予算に盛り込むのかを注  
視した。

「つなぎ応援商品券事業」  
は、町民の生活に直接か  
わり、また商工業者にも町  
民の消費喚起を促し、メ  
リットが大きい。

災害復旧関連は、6月の  
補正予算で計上される。町  
民の要望を十分に配慮され  
た予算計上を望む。

今後も、公共施設改修な  
どの事業が発生し予算を圧  
迫するが、町民福祉の向上  
にさらに目を向け、効率の  
良い運営をするため、議会  
はチェック機能を発揮し、  
二元代表制の一翼を担う。

#### 令和3年度の一般会計予算の概要

1. 予算額は32億6,000万円（前年比4%増加）  
災害復旧関連工事予算は6月定例会に持ち越しとなった。
2. 商工費は1億2,178万円（前年比で159%大幅増）  
（主な要因：新型コロナ対策関連による）
3. 公債費は、2億6,208万円。（前年比10%増）
4. 主な事業は、つなぎ応援商品券事業、新型コロナウイルスワクチン接種  
事業、学校給食センター空調設備設置設備工事、水産物供給基盤機能保  
全事業（大泊地区）、定住住宅建設・改修事業（染竹地区）、旧赤崎小学  
校観光拠点整備事業など。

令和3年度の一般会計の  
総額は32億6千万円。前  
年対比4%と増えた。今年  
度は、令和2年7月災害に  
よる復興の年となるが、当  
初予算では具体的な予算の  
計上はされていない。6月  
の定例会で優先順位をつけ  
て行なう予定である。

予算の内容は、総務費が  
前年比1億1千万円、消防  
費439万円のマイナスの  
ほか増加している。

特に商工費は前年対比  
7475万円の大幅増と  
なっている。これは、つな  
ぎ応援商品券事業、同じく  
特別資金利子補給金等が計  
上されたためだ。

新規事業では、旧赤崎小  
学校観光拠点整備事業（低  
学年棟デッキ化工事）や低  
炭素型観光地域づくり事業

などが要因で山田町長の目  
指す観光の振興を盛り込ん  
でいる。

教育費では給食センター  
空調工事等を盛り込み、設  
備の改善を図るとともに、  
調理員の労働環境の改善と  
食品の衛生を考えた予算を  
計上された。教育委員会空  
調設備や、津奈木幼稚園遊  
戯室の空調設備の更新も行  
われる。

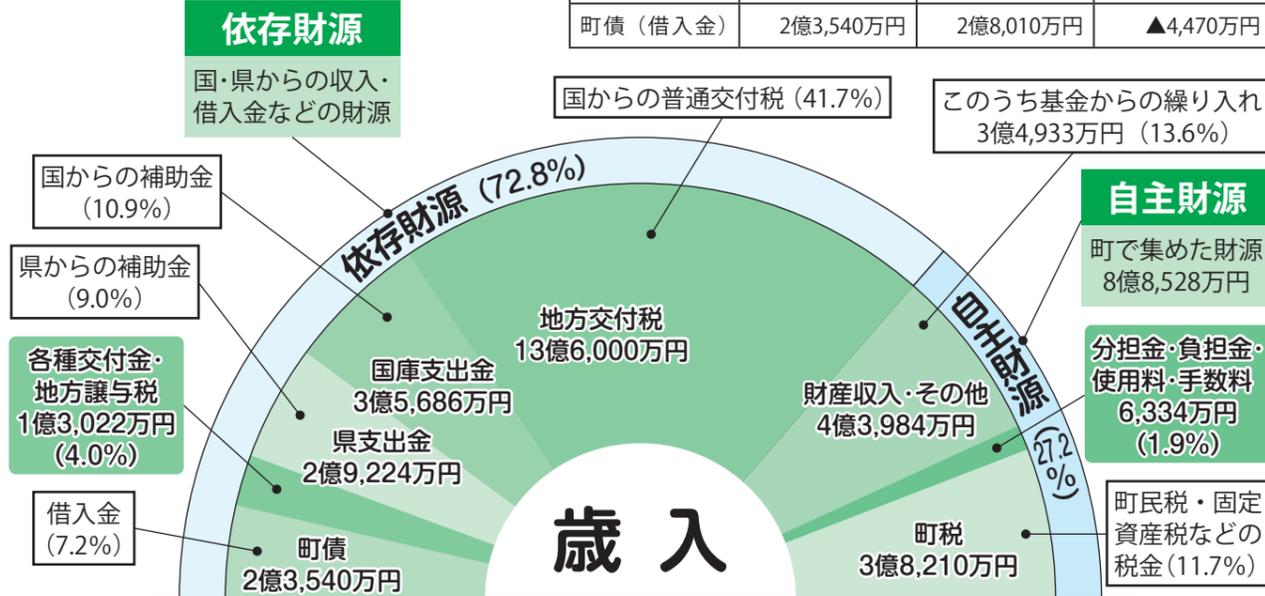
歳入では、地方交付税を、  
前年同額13億6000万円  
計上。国庫支出金は、1億  
1672万円増額し、3億  
5686万円計上した。

借入金に当たる町債は、  
4470万円減り、2億3  
540万円となっている。

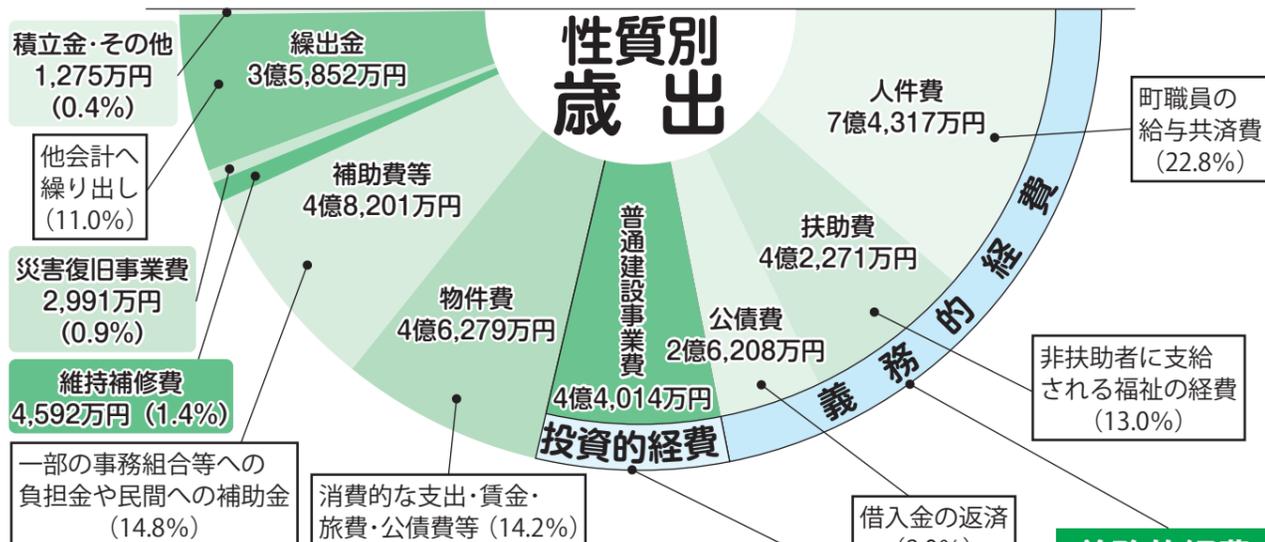
#### 予算の内訳

昨年との比較

	令和3年度	令和2年度	増減額
地方交付税	13億6,000万円	13億6,000万円	0円
町債（借入金）	2億3,540万円	2億8,010万円	▲4,470万円



**一般会計 32億6,000万円**



昨年との比較

	令和3年度	令和2年度	増減額
人件費	7億4,317万円	7億910万円	3,406万円
補助費等	4億8,201万円	4億331万円	7,870万円

**投資的経費**  
社会資本の整備に  
要する経費 (13.5%)

**義務的経費**  
支出が義務付けら  
れた経費 (43.8%)

# 令和3年度当初予算を 各常任委員会へ付託 慎重審議 を行う

## 総務振興常任委員会

○機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

○津奈木町議会議員及び津奈木町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

○津奈木町新型コロナウイルス対策利子補給基金条例の制定について

○津奈木町職員の分限に関する条例の制定について

○津奈木町報酬及び費用弁償条例の一部改正について

○津奈木町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

全会一致で可決

### 主な施策の質疑応答

**問** 定住促進住宅の場所はどこか。間取りと家賃は。

**答** あげぼの苑に行く左側の部分。2DKで家賃は未定である。

**問** 津奈木工業団地産廃飛散防止シート張替工事は、全面張り替えるのか。

**答** 津奈木工業団地産廃飛散防止シート張替工事は、全面張り替えるのか。

**問** 津奈木工業団地産廃飛散防止シート張替工事は、全面張り替えるのか。

**答** 津奈木工業団地産廃飛散防止シート張替工事は、全面張り替えるのか。

## 教育住民常任委員会

○津奈木町国民健康保険税条例の一部改正について  
全会一致で可決

### 主な施策の質疑応答

**問** 資源ごみ収集業務委託料は、令和2年度と比較して300万円ほど増額となっている理由は。

**答** 現在水曜日に収集と分別作業、ペットボトルの受入業者への運搬を行っているが、人員が不足し業務に支障が出ているので、分別作業員の増員、ペットボトルの運搬費の増加が主な要因である。

**問** 津奈木保育園の民営化についてはどうなったのか。

**答** 民営化検討委員会の答申を踏まえ、令和2年度保護者会で今後の取組みを説明予定であったが、新型コロナウイルスと7月豪雨災害により対応できなかった。令和3年度は計画等を作成し、取組みを進めたい。

**問** 津奈木保育園の民営化についてはどうなったのか。

**答** 民営化検討委員会の答申を踏まえ、令和2年度保護者会で今後の取組みを説明予定であったが、新型コロナウイルスと7月豪雨災害により対応できなかった。令和3年度は計画等を作成し、取組みを進めたい。

**問** 津奈木保育園の民営化についてはどうなったのか。

**答** 民営化検討委員会の答申を踏まえ、令和2年度保護者会で今後の取組みを説明予定であったが、新型コロナウイルスと7月豪雨災害により対応できなかった。令和3年度は計画等を作成し、取組みを進めたい。

## 柳幸典つなぎプロジェクト成果展2021

事業費…1310万5千円（令和3年度）  
総事業費5598万8千円

事業内容…つなぎ美術館20周年記念事業は、世界的に知名度の高い柳幸典氏による「入魂の宿」「石霊の森」を制作。大型展覧会を開催し、アートによる観光客の誘致を図る。

**問** 柳幸典プロジェクトの内容は。

**答** 作品はみんなの森に設置される「石霊の森」と旧赤崎小学校に制作される「入魂の宿」で、どちらも常設展示になる。「石霊の森」は、石を割った中にスピーカーを仕込み、タイマーで地域にまつわる音が流れる仕組みである。

**問** 入魂の宿は、どこが管理するのか。

**答** 管理は政策企画課で、維持管理費や手間が少ない仕様となっている。オンライン予約システムの導入やフロントの無人化にも対応できるように検討している。令和3年度は観覧できる屋外作品として展示し、宿の運営は令和4年度開始に向け検討していく。



「入魂の宿」イメージ（旧赤崎小プール）

## 学校給食センター

### 空調設備設置・備品購入事業

事業費…5889万6千円（令和3年度）

事業内容…現在業務用扇風機のみしかなく厨房内が高湿となっている。調理員の体調管理、食品の衛生面を考えた場合、厨房内に空調設備を設置することが必要不可欠である。また、備品についても、必要に応じて購入する。

**問** 給食センター空調設備設置工事を計上されているが、今後給食センターは、子どもが減少していくなかで、どう考えているのか。

**答** 給食センターは建物も長年経過し、劣化してきている状態である。既存の建物を修繕しながら、残していく予定である。

**問** 給食センターで危険する点はあるのか。

**答** 食材の検収を外部で実施しているので、今後は検収を建物の中で実施できるように、検収室を設ける計画を予定している。また、センターの外壁と屋根の改修を今後計画していく。



給食センター内部



## 崩れ落ちる前にだいじょうぶ？ 旧赤崎小！

上村 勝法 議員

### 旧赤崎小学校周辺の利活用の今後は？

**問** 令和3年度当初予算では、旧赤崎小学校の低学年棟を取り壊しデッキ化することだが、3階建ての本校舎の方も年々痛みがひどくなっている。今後、補修しながら活用するのか、若しくは解体するのか。早急な対応が必要ではないか。

**答** 政策企画課長：低学年棟デッキ化工事は、建物を解体し、コンクリートの基礎部分を活かしデッキ化するものである。令和3年度から4年度の計画で、当初予算には工事の設計委託料と解体撤去に係る工事費を計上している。また、本校舎は、現状を維持し残していきたい。

**問** 旧赤崎小学校は名称を変え、「赤崎ふれあい広場」となっているが、地域住民の意見を取り入れた公園になっているのか。

**答** 総務課長：近隣住民の要望に配慮する必要があったため、予算の範囲内でいちばん要望が大きかった張芝と暗渠配水、そして健康器具の設置を行い、平成31年2月にはシェルターおよび、校庭部の敷地造成工事を完了している。現在は、グラウンドゴルフやサッカーなど、地域の憩いの場となっている。



痛みがひどくなった旧赤崎小学校

### 開館20周年を迎え美術館の効果と進展は



**問** つなぎ美術館が開館20周年を迎え、記念イベントとして令和3年度に予定されているが、今までの観光、また、地元振興の効果と今後の進展を伺う。

**答** 政策企画課長：これまでの取組は全国的にも高く評価され、アートの町との認識も深まってきたと考える。

観光面から見ても入館者は年間7,500人を超え、県の観光統計から日帰り客1人当たりの平均消費額3,526円に基づき計算すると、2,600万円を超える経済効果があったと見ることもできる。

つなぎ美術館はどこにでもある美術館とは異なり、昭和59年から取り組んできた、「緑と彫刻のあるまちづくり」の拠点施設として、建設されたものである。

水俣病の負のイメージからの脱却や都会と田舎の文化格差の是正、地域住民との交流の場、また、やすらぎの場を提供するなど、数字に表れなくても町に美術館があることに、大きな意義があると考えられる。

今後の展開としては、社会教育施設としての機能と町の魅力を発信する観光施設としての機能を活かしながら事業展開をしていきたい。

## 魅力あるグラウンドゴルフ場 整備を！

宮嶋 弘行 議員



### 町民全てに行き届く支援を！

**問** 昨年11月に実施された「つなぎ応援商品券」の検証結果と新年度予算に計上している内容は。

**答** 政策企画課長：「つなぎ応援商品券」事業は、町内の消費需要の喚起と町の経済再生を図ることを目的に実施した。商品券の利用総額は4,358万2千円で利用実績は前回の98%。飲食店限定券も利用促進に大きな効果があった。しかし、コロナの影響は大きく、改善の兆しがまだ見えないため、新年度でも同様の目的と内容で実施する。

### 元気なまちづくりは、スポーツから！

**問** 高齢化とともに、グラウンドゴルフが盛んに行われている。町内においても、もっと魅力あるコースづくりと誰でもがプレーできるような環境づくりが出来ないのか。

**答** 教育課長：総合グラウンドの平場や周囲の斜め等の場所をうまく利用することにより、魅力あるコースとして、活用をお願いしたい。なお、子ども用の道具が現在ないので、検討したい。

**問** 現在のスポーツ施設の状況について、総合グラウンド等の利用が各競技に利用されている状況だが、それぞれの競技に関する設備が不十分なため、社会体育クラブ等における指導が大変な環境である。来年は県民体育祭が地元開催されるが、今後、子どもたちが将来にわたり活躍できるよう短距離練習用のレーンや全天候型タータン等の整備が必要ではないか。

**答** 教育課長：総合グラウンドは、平成30年度に社会体育に移行した小学校の野球部、陸上クラブ、その他サッカークラブチームや一般野球チームの練習と試合、また、町民体育祭の盆野球・町民大運動会等に利用できる多目的グラウンドで

ある。

陸上競技に特化したグラウンドの整備は、難しいのではないかとされる。

### 空き地をもっと活用しよう！

**問** 倉谷工業団地、中尾深溝公園、平国運動公園等の利活用について、除草作業のみが行なわれているが、環境整備の一環として花公園などの空き地活用が考えられないか。

**答** 政策企画課長：工業団地は、人の憩いの場には適さず、公園や空き地を花公園にする計画はない。関連事業として、旧赤崎小学校プールに、ハーブなどの草花を植え、アート作品にする美術館20周年記念事業を進めている。政策的に自然やアートなどと絡めながら、目的や場所と波及効果などを検討していきたい。

### 弱者に温かい支援策を

**問** 障がい者に対する支援策と水俣市など県内各自治体でタクシー利用券の発行をしているが、障がい者に対して負担軽減を検討できないか。

**答** ほけん福祉課長：町では、障がい者に対する支援として国、県の補助制度を利用しながら各事業を行い、独自事業として、身体障害者等福祉年金、相談事業に取り組んでいる。タクシー利用時の助成は行っていないが、町独自として、障がい者手帳を所持されている方全員に年に1回身体障害者等福祉年金の交付を行い自由に使えるような取り組みを行っている。また、タクシー利用に関しては、熊本県タクシー協会が障がい者手帳を運転手に提示することにより、表示価格より1割引となる制度を周知していきたいと思う。今後も、最適な支援を検討していきたい。



# 第一次産業振興は どうするの？

本山 真吾 議員

## 第一次産業参入状況は？

**問** 小さくて強い産業づくりの新規参入の現状は？

**答** 政策企画課長：短期雇用も含めて新規雇用が16人、新規創業は4件、そのうち農業分野は、建設業の農業参入が1件、有機農産物の販売を中心とした事業者が1件、農作業受託法人が1件の参入実績となっている。

## 農地集積化はどうするのか？

**問** 農業を活性化させ継続可能にするには、農地整備事業が必要であるが、工業団地のように町での農地所有は可能か？

**答** 農業委員会事務局長：町が農地として所有することは、農地法第3条第1項の規定により現段階では困難と思われる。

**問** 和歌山県北山村の例では特産品の生産のため、行政主体でパイロット事業をスタートした事例があるが？

**答** 町長：農地法ではできないが、生産者の意欲があり、組合のような形式であれば、要望を聞き、検討しうる可能性はある。

## 担い手育成はどうするのか？

**問** 本町の特産品は柑橘類であるが、日本有数の適地である本町においても経営環境は厳しく次世代の担い手の確保も困難な状況ではないか。国の制度を利用し、育苗から安定生産まで研修する、いわば津奈木版農業学校を設立することはできないか？

**答** 振興課長：芦北地方では、県や市町、JA等で組織する芦北地方農業振興協議会を設立し、新規就農者の確保、定着支援を行っている。参加条件は、国の農業次世代人材投資事業、150万円を5年間給付される要件を満たすこととなっている。これまで3組の新規就農者を獲得しており順調に農業経営をしている状態だ。そのほか新たな担い手確保対策プロジェクトチームの立ち上げや、耕作放棄予定園地の中から条件の良い園地を提供し、就農後すぐに栽培を行いながら、各研修を受講しつつ幼木から育てるシステムを構築できれば、スムーズな就農につながるのではないかと考える。

## 第一産業と観光はどうするのか？

**問** 一次産業と観光を結び付けた振興策も必要ではないか？

**答** 政策企画課長：津奈木町では平成29年から3年間取り組んだ、スロータウンつなぎ発信事業や令和2年から3カ年事業として取り組む低炭素型観光地域づくり事業で、すでにかんきつの収穫体験や柑橘を使ったスイーツづくりといった、体験プログラムやバスツアー受け入れを実施している。さらに令和3年度から取り組む予定の地域商社推進事業においても、第一次産業と観光の連携による新産業創出と交流拡大を目指したメニューづくりを行う。今後は農家の方で観光客を受け入れ、農業体験を実施し民泊や食事の提供などをビジネスとする意欲のある方が出てくると、町は推進体にはなりえる。



和歌山県北山村（人口約400人）では、昭和57年に9haの土地を確保して特産品「じゃばら」栽培をスタート。現在では関連従事者40人、年商2億円超となっている。

# 令和3年度山田町政を問う！

橋口 知恵子 議員



## つなぎタクシーを休日にも利用したい！

**問** 交通弱者の移動手段を確保するとともに、少子高齢化社会における移動を担うライフラインと位置づけ、利用者の声を反映させながら改善を行うとあるが、土曜、日曜、祭日の運行希望者が多いなか改善されていない。利用者の声を反映させ運行できないか。

**答** 政策企画課長：最新のアンケートでは、休日運行があれば利用するとの回答が71%であった。利用目的が通院という結果で、休日運行のニーズは潜在的にあるが、実際の利用形態とは少々乖離した要望に近い意見と分析している。

町の生活交通ネットワーク計画で、高齢者の外出頻度、運行経費の上限1300万円を踏まえて運行は平日のみと決められた。高齢者の外出頻度は通院に係る平日にあたるので平日のカバーはできていると考えている。休日運行の経費の試算は約1.5倍で2000万円近くになるため、休日運行への対応は大変難しい。

**問** 平国線の廃止前は、休日にも運行していたのに廃止した途端に休日の動きが取れなくなり、買い物や温泉にもいけなくなった。休日には家族や周囲の支援を受けてもらいたいというのは行政の身勝手としか言いようがない。家族や周囲の方の支援が受けられれば、つなぎタクシーを利用する必要がない。600万円増えてもライフラインが確保できれば検討すべきではないか。

**答** 町長：行政というのはまず先んずるものがないと事業はできない。ある程度決まった通りに周知し、土日はしない、普段使いを大いにしてもらおうように、回数券とか乗りやすいように努力しているの理解してもらいたい。

## 柳幸典つなぎプロジェクトの「入魂の宿」の管理・維持は？

**問** つなぎ美術館開館20周年事業の柳幸典つなぎプロジェクト成果展2021で「入魂の宿」を作製する計画である。9月に展覧会を開催し、その後は宿泊施設として利用するが、管理所管や維持費はどうなるのか。

**答** 政策企画課長：令和3年度はアート作品として維持管理はつなぎ美術館、令和4年度から宿泊施設になると観光施設で管理すべきで、いずれにしても所管は政策企画課になる。

維持費の試算は、令和3年度の運用実績に基づいて宿泊料金を設定し、宿泊料で維持管理費をカバーしていく。プール部分の作品は、植物や生物の力で自然浄化するビオトープすることで、維持管理や手間が少ない仕様となっている。

**問** 宿泊代で維持管理するが、宿泊代はいくらになるのか。

**答** 政策企画課長：まだ維持管理費がいくらと試算できないが、1組だけの宿泊で、アート作品に泊まれるとなると高額でも宿泊される方がいると期待している。

**問** 1泊5~10万円になると聞いたがPRはどのように。

**答** 政策企画課長：美術館20周年記念でお披露目し、広く告知をしていきたい。

## その他の質問

- ・18歳以下の国保税均等割額免除について
- ・耕作放棄地解消について



## 県道の拡幅工事は どうなるの？

村上 義廣 議員

### 水俣田浦線の拡幅工事の今後の予定は

**問** 平国地区の県道拡幅改良工事は、現在は令和2年7月豪雨災害の影響でストップしている。通行止めは解除されているが、今後はどのような予定か。県に対して早期完成への要望や陳情する予定はないのか。

**答** 振興課長：水俣田浦線の被災箇所は、地滑り対策として、どのくらい動いているかの装置

をつけている。現在は安定しているため通行止めは解除しているが、動き始めて危険な時は、今通行している道路は通行止めとなる。また、ライトを設置しているので外灯が回り通行できなくなる。旧平国小学校付近の被災箇所は、令和3年度予算で測量設計を行う。改良工事は、災害復旧工事が終わってからになる見込みである。

町長：要望活動、陳情は常にやっているのご理解いただきたい。



## 山田カラー町政の4年間と 2期目は？

柳迫 好則 議員

### 4つの公約の取り組みへの評価は

**問** 7月に任期満了となるが、4つの公約の達成感はどのくらいか。

**答** 町長：「人口減少・少子高齢化対策」は、出生祝い金、高校生までの医療費無料化、小中学校エアコン設置、シルバー人材センター支援、人間ドック無償化を実施。

「農林水産業の振興」は、農地集積の支援、中山間地直接払い、多面的機能で農地の保全、耕作放棄地の解消、有害鳥獣の対策、高齢者の作業負担の軽減支援、つなぎFARMの支援、林業環境譲与税活用、カキ養殖の支援、漁船エンジンのオーバーホール支援を実施。

「地元企業育成・雇用確保」は、新商品開発、販売拡大の支援、定住促進補助金、民間賃貸住宅の建

設補助金、コロナウイルス対策対応企業に対する利子補給として5年間の補助を実施。

「観光の振興」は、オイスターバルの支援、地産地消支援、農産物の販売促進、つなぎ美術館、野外彫刻達仏、つなぎ百貨堂、つなぎ温泉四季彩を通して関係人口の増加を図ってきた。達成度は、新たな施策に踏み出し、少しは実績ができた。

### 2期目の出馬は？

**問** 7月町長選に出馬されるのか。

**答** 町長：7月災害の復旧復興、新型コロナ対策に全力で取り組みたいので2期目も出馬したいと考えている。

## 住民に寄り添った 避難所運営を

澤井 静代 議員



### 避難所運営

**問** 令和2年9月6日、台風10号の接近により避難所が開設されたが、検証結果はどうだったのか。避難所運営に携わった職員から、今後の課題や改善等の報告はなかったのか。

**答** 総務課長：台風10号は、接近前に気象庁から特別警報が発表される可能性があるという報道で、高潮の危険および令和2年7月豪雨からも時間が経っておらず、海浜地区の避難所は開設せずに、津奈木小学校体育館、B & G 体育館、文化センター、改善センターの4ヶ所を開設した。

平国、福浦、赤崎地区は、津奈木小学校体育館への避難をお願いした。避難者数は、最大で文化センターが124人、改善センターが88人、津奈木小学校111人、B & G 体育館が65人、要介護者16人があけぼの苑、合計404人が避難されている。

職員からは、避難所間の情報交換、パーティションや敷物が少ないなどがあった。次回の避難所運営に反映させていきたい。

**問** 住民から「学校の教室は空調設備がなされているが、教室は使えないのか」等の意見があるが、使用できるようにできないのか。また、当初予算に文化センター和室の雨戸設置を計上されているが、避難所として活用するためのものか。

**答** 教育長：学校は、児童生徒が学習をする場で、管理は校長の責任で行っている。通常、学習以外の目的での使用は想定されていない。

ただし、例えば熊本地震のような非常時において、季節的に高温多湿で長期にわたる避難が必要な状況のときは、命と健康を守ることを優先し、空調設備のある教室の開放を考えなければならない。

文化センター和室は、雨戸を設置することで利便

性が増すと思っている。

### つなぎFARMの今後は

**問** つなぎFARMについて、これまでの取り組みや現状、成果は。また、令和3年度の予算を含め今後の計画は。

**答** 振興課長：取り組みは、果樹や野菜の栽培管理講習会、食の安全安心に関する講演会等の開催。料理教室や小中学生の農業体験会、都市圏においてつなぎ産品の販売会等を兼ねて、本町のPRを実施。

併せてスイートスプリングジュースやマーマレード、ゼリー、寒漬大根などの商品開発を行い、食のイベントとしてつなぎFARMキッチンの開催、酒米作りに取り組んでいる。

現状と成果は、環境配慮型農業やオーガニック農産物の生産地としての知名度と認知度を上げ、固定客を獲得でき一部農産物では販売単価が向上し、農業者の意識向上が図られた。小中学生の農業体験では、地域農業への高い理解と愛着や生産者への感謝の気持ちも同時に育まれたと思う。

今後もこれまでの取り組みを継続しながら、新たな事業にも取り組みたい。認証基準は、当初計画していた5段階を3段階へ簡素化する方向であり、学校給食への地場産物の活用についても、システムづくりを進めている。



議会改革特別委員会では、現在12項目の検討事項の内、ICT化の流れに乗ってタブレット端末の導入を行い、議会の運営や業務の効率化や、ペーパーレスによる経費削減等を進め、議会の改革活性化を図ることを検討しています。新型コロナウイルスの影響や7月豪雨災害で議会運営の効率化はもとより必要性が高まりました。

今回の定例会一般質問にて本山議員が議会を代表して執行部側に導入について質問を行いました。

**問**

現在、議会では一昨年の選挙以来、議会改革を進めている。その中で、ペーパーレス化と作業効率改善による費用削減や事務局の負担軽減、議員の利便性の向上等、メリットが多数あり、全国の自治体で急速に広まっているタブレット端末を利用した議会運営の導入を議員全員で了承した。導入は行政側との同時導入が好ましいと思うが、行政側はどのように考えているのか。

**答**

本年9月にデジタル庁が設置されるようになった。今後行政のデジタル化というものは急速に

自治体議会のタブレット端末の普及現状は

進むものと認識している。将来的には必要となると思われるが、検討するべき事項は多岐にわたるため、議員の皆さんと協議を行いながら導入に向けて、検討していきたい。

- 運用基準の制定が必要  
本格導入までの研修会  
定期的な研修会の実施  
紛失時の対策
- 全国では約300の自治体がすでに導入済み。  
熊本県では7市町が導入済み。
- 津奈木町ではシステム導入により、年間50万円ほどの削減(試算による)事務局負担の軽減が可能
- 経費の削減  
働き方改革につながる  
災害対応に活用  
リモート会議の実現  
情報セキュリティ

発議第一号

「議会広報編集特別委員会設置に関する決議の説明文」

地方分権が進み、地方議会の役割と責任はますます大きくなり、地域の実情に合わせた施策が求められている中において、町議会の活動状況や議会に関する諸般の事項等を町民に広く周知し、町民の議会に対する理解を深めることは非常に重要であります。

議会広報紙やSNS等を活用し、議会の活動状況を広く町民に周知することで、町民の議会及び町政に対する理解を深め、町民に開かれた議会の構築ならびに議会の充実および活性化を図るために、これまでも「議会広報編集委員会」は、日々精力的に活動を行ってきたところでありますが、これまで以上の議会広報に関する活動の推進を図るため、特別委員会として設置を提案します。

今後は、昨年設置されました「議会改革特別委員会」の活動と合わせ、町民に開かれた、わかりやすい議会活動のPRを行ない、「議会の見える化」について、積極的に取り組みを進めてまいります。

歴代「議会だより」の表紙を紹介



2016年3月 100号 シンプル表紙が高評価 ありがとう平国小！  
2011年3月 80号 斬新なツートンカラー 新幹線が開通！  
2000年6月 40号 ページ数は8ページ アジサイが綺麗です！

「議会だより」  
これからの課題は！

- ・編集力のアップと内容充実でよりわかりやすい広報誌へ！
- ・町民との対話の中から、「もっと住みたくなる」津奈木町へ！
- ・SNS等を活用し、旬の情報を正確に伝える！
- ・議会広報誌コンクールで好成績を収める！

議会のうごき

- 【2月】**  
17日 総務振興常任委員会  
18日 教育住民常任委員会、議会改革特別委員会  
26日 議会運営委員会
- 【3月】**  
2日 議会全員協議会  
5日～19日 第1回議会定例会  
9日 議会運営委員会
- 【4月】**  
21日 総務振興常任委員会、議会改革特別委員会  
22日 教育住民常任委員会  
7日、13日、15日、20日、21日、22日 議会広報編集特別委員会
- 【5月予定】**  
19日 総務振興常任委員会  
20日 教育住民常任委員会、議会改革特別委員会
- 【6月予定】**  
上旬 議会運営委員会  
中旬 第2回議会定例会  
下旬 総務振興常任委員会、教育住民常任委員会  
下旬 議会改革特別委員会、議会広報編集特別委員会

議会を傍聴  
してみませんか

町政を知るためにぜひ傍聴してください。

手続きは簡単で、役場3階の議会傍聴席入口の受付簿に記入していただくだけです。

次回の定例会は6月の予定です。

■問い合わせ  
議会事務局 0966-78-5351

つなぎ議会だより

次回8月1日

発行予定

令和3年度

6月補正予算

他